

メータオ・クリニック支援の会(JAM)支援者の皆様

いつもご支援していただき誠にありがとうございます。

JAM 会報メール第9号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足された NGO です。

ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を会報メールにて毎月発信させていただきたいと思えます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

メニュー

- 最新メータオニュース・新型インフルエンザ
- 現地スタッフ、梶看護師活動終了
- JAM 総会・報告会レポート

■ 最新メータオニュース・新型インフルエンザ

世界を揺るがせ、多くの感染者と死者をだしているメキシコで発見された新型インフルエンザはタイにあるこのメータオ・クリニックをも揺るがせています。4 月末よりこのニュースを受けクリニック院長であるシンシア医師を筆頭に、また院内感染予防チームを中心とした新型インフルエンザ対策会議が結核対策会議とともに開かれました。

クリニックは年間 11 万人の外来患者さん、9 千人の入院患者さんを支えています。またその患者層はマラリア、肺炎、HIV/AIDS、栄養失調を患う方々が占めています。その中には子供、高齢者が含まれています。多くの膨大な患者数を支え、その患者層は病を患い抵抗力が下がっており容易に院内感染が起こりうる状況が懸念されます。

クリニックでは結核対策とともにこの新型インフルエンザ疑い患者のための専門外来・病棟開設を進めています。また当会の物資寄附支援、皆様の会員費より結核及び新型インフルエンザに対応した医療従事者用の N95 マスクを 590 枚、外来及び入院患者用マスクを 480 枚寄附させていただきました。皆様のご支援本当にどうもありがとうございました。

■ 現地スタッフ、梶看護師活動終了

2007 年 7 月よりメータオ・クリニックで看護師ボランティアスタッフとして活動していた梶藍子看護師がこの度約 2 年間に渡る活動を終了しました。梶看護師へメータオ・クリニックでの活動を終えた今の気持ちをインタビューしました。

「この2年間の活動で今までの私の人生の中でとても意義深い時間を過ごすことができました。2年前に初めてクリニックを訪れた時、少数民族による言葉や文化がわからずとても戸惑いましたが、今ではメータオ・クリニックは私のふるさとのように感じます。患者さんとそのご家族が支え合う姿や、クリニックで働くスタッフの笑顔や元気な声が聞けなくなることは胸が張り裂けそうなくらいにとっても寂しいです。たくさんの思いが詰まるクリニックでは本当に多くのことを学ばせていただきました。」

写真右上：院長シンシア医師と梶看護師



右下：手洗いポスターをもつ感染予防スタッフと梶看護師



「医療者として熱帯医学や公衆衛生の重要性について日本では機会がないことをクリニックで勉強することができました。同時に日本が忘れかけているのではないかと思う、人と人の心のつながりや絆の深さ、難民・移民であり苦境におかれている立場であるにもかかわらず他者への思いやり、心の豊かさを忘れていないミャンマー／ビルマの人々から多くのことを学ばせていただいたと思います。充実し有意義な活動を終えることができたのは、皆様のご声援、ご支援のおかげだったと思っております。本当にどうもありがとうございました。」

写真左上：学校でポリオワクチンを子ども達に投与する梶看護師

左下：学校訪問にて子ども達と話をする梶看護師

6月より整形外科医の田辺文医師が当会から派遣される予定です。田辺医師は梶看護師の活動であった感染予防と学校保健活動を今後引き継ぎ、活動を継続する予定です。また外科病棟でも医師ボランティアとして活動する予定となっております。皆様、梶看護師へのご声援どうもありがとうございました。今後は新しい現地スタッフ、田辺医師への応援どうぞよろしく願いいたします。

■ JAM 総会・報告会レポート

先日5月23日、平成21年度総会・報告会が開催されました。全国各地から30名の方々にご参加いただきました。皆様どうもありがとうございました。1年間、当会をあたたく見守ってくださった皆様にお会いできたことをスタッフ一同、心より嬉しく感じております。写真は報告会の様子です。



メータオ・クリニック支援の会

Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て Eメール: support@japanmaetao.org

ホームページアドレス: www.japanmaetao.org

